

海域の概要

本湾は、福井県と京都府の県境にある内湾です。外湾に面した側には、高さが 250m 以上におよぶ海蝕崖が発達しています。



Specification

諸元

湾口幅：1.2 km

面積：7.8 km²

湾内最大水深：4.4 m

湾口最大水深：4.4 m

閉鎖度指標：2.33

備考：環境基準類型指定水域

Location

範囲または位置

福井県大飯郡高浜町押回鼻と同町正面崎を結ぶ線及び陸岸により囲まれた海域。



環境

水質は良好で、1999年の観測結果によると、pHは8.1～8.2、DOは7.5～8.9mg/l、CODは0.8～1.2mg/lの範囲にあり、環境基準（A類型）に全て適合していました。

底質は、砂または泥となっています。

内浦湾海域水質測定結果

観測年	類型	pH		DO mg/l			COD mg/l			油分 mg/l			DO飽和度 (%)		
		最小～最大	0/6	平均	最小～最大	0/6	平均	最小～最大	0/6	75%値	平均	最小～最大	0/6	平均	最小～最大
1998	A (イ)	8.1～8.3	0/6	8	7.4～8.7	0/6	0.9	0.5～1.3	0/6	1	ND	ND～ND	0/6	119	113～125
1999	A (イ)	8.1～8.2	0/6	8.2	7.5～8.9	0/6	1	0.8～1.2	0/6	1.2	ND	ND～ND	0/6	120	109～133

備考：m / n（環境基準に適合しない検体数 / 総検体数）

自然

内浦湾は、京都府境の正面崎と押回鼻に囲まれた若狭湾の内湾で、若狭湾国定公園に指定されています。外湾に面した側には海蝕崖がよく発達し、中でも音海断崖は海面からの高さ250m以上にも達する日本海側でも有数の断崖地形になっています。

海岸線沿いの岩礁部には、アカモクを主体とするガラモ場が発達しています。

湾岸の東斜面には「日本の棚田100選」に指定されている「日引き棚田」があり、恵良岬からは内浦湾～青葉山のパノラマを展望することができます。内浦半島を越えると、福井県の名勝に指定されている高さ約260mの絶壁大断崖の「音海大断崖」、「八穴（やな）の奇勝」と呼ばれる8つの自然洞窟の一つ「明鏡洞」、約8kmにわたる白砂青松で環境省の「日本の水浴場88選」にも指定された「和田海水浴場」等の代表的な風景が見られます。また、湾背後には標高699mの別名「若狭富士」の青葉山が構えており、海からの美しい山容が印象的です。

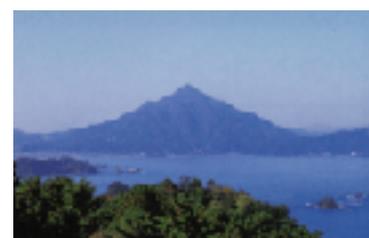


日引きの棚田

文化歴史

かつて山内一豊が高浜城主としてこの地を治めた時代の、雅かな京文化の文化財や伝統行事が受け継がれています。大正時代には京都の避暑地として愛され現代では年間100万人以上の行楽客が訪れる日本海沿岸屈指のマリンリゾートエリアになっています。

西の正楽寺は僧・行基によって開山され、聖観音菩薩像は県指定文化財となっています。また、青葉山の中腹の中山寺も重要文化財に指定されています。



青葉山

産業

若狭湾沖では対馬海流とリマン海流がぶつかり好漁場をもたらす、カニ・フグ・タイ・カレイ・アワビ・サザエ等の海の幸をもたらしています。中心産業ある漁業・水産加工業ではフグ・ヒラメ・マダイ・貝類等の養殖事業を推進し、特産品として五色貝（ヒオウギガイ）等が知られています。



五色貝